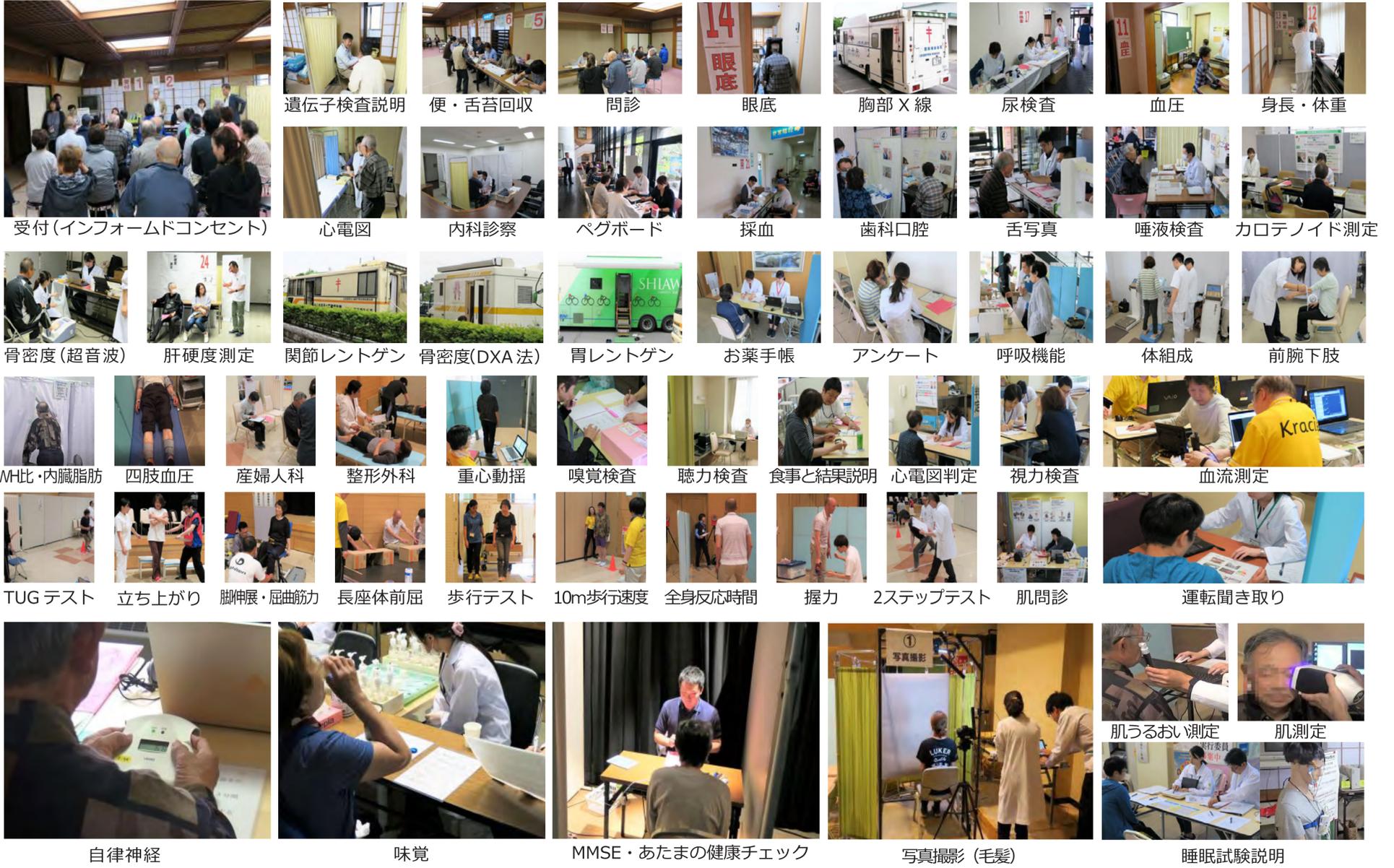


プロジェクト健診の検査内容



ピュアで多因子な“健康 BigData”

数 質 種類 信頼

※世界に類例のない幅広いデータの存在→現代病はきわめて多因子(認知症も)、認知症以外(心臓病・がん等生活習慣病)にも対応できる可能性

- ①脳・精神科関係(認知症)：MMSE, CDT など約 15 種のテスト、血液中の amyloid β40, amyloid β42、MRI 撮影、嗅覚テスト、重心動揺計
- ②歯科口腔環境(残存歯数測定、歯周病、唾液量、細菌)
- ③好中球活性化酸素産生能+リンパ球機能、サイトカイン、ホルモン
- ④腸内細菌(T-RFLP法+16Sメタゲノム、全ゲノムメタゲノム)
- ⑤体力・運動能力測定
- ⑥メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム+骨代謝、糖代謝、脂質代謝、アミノ酸代謝、関節X線撮影、MRI撮影
- ⑦動脈硬化(PWV)
- ⑧全ゲノム測定
- ⑨心エコー検査、腹部エコー検査
- ⑩その他のデータ：脂肪酸分析、アミノ酸分析、糖代謝、骨代謝、血清微量元素(セレン、銅、アルミニウム、亜鉛など12種)、呼気ガス濃度(一酸化炭素、一酸化窒素など4種)、メタボローム解析(血液)など2-3,000以上

2020年度はコロナ禍において感染予防対策を徹底し規模を大幅縮小した上で実施

DX対応した新たな健診

※住民の皆様が安心して健診を受診できるよう感染予防対策を徹底。完全予約制とし、受診者、スタッフに関わらず事前の検診2週間前からの体調確認も行った。



岩木PureBigDataの全体像



岩木プロジェクト健診における企業等の参画状況

